グーグルドキュメントでデータ抽出





抽出したデータを加工する方法 前回グーグルレンズの使い方を勉強した ◇グーグルレンズを使いテキストを抽出する →ファイルをどこに保存すればよいか →どこで加工すればよいか どこに保存すればよいか→グーグルドライブ上 ◇スマホを使いグーグルドライブに保存する どこで加工するか➡WINDOWSのデスクトップ上 ◇グーグルドライブをスマホとPCで共用に設定する ◇ドキュメントファイルをワードファイルに変換して保存 ◇PC上で加筆やオリジナル文書を作成する。



Google レンズからデータを抽出する

- ◆スマホ上で、グーグルレンズを使ってデータを抽出する カメラから検索・写真から検索 どちらからでも可能です。
- ◆ 🧲 アプリから開きます。
- ◆文字(データ)の部分をタップして反転させる。
- ◆検索する部分が枠に収まっているか確認する。
 ◆コピーする範囲を指定して、「テキストをコピー」
 をタップしてコピーする。





◆新しいドキュメント作成画面が現れる。ここで「無題のドキュメント」を「作成」ボタンをタップする。
「無題のドキュメント」は最初にファイル名称を書き換えて保存することもできます。







- ◆「無題のドキュメント」をタップすると 空白のドキュメント画面が現れるので、 ここで「貼付け」を選んでタップする。
- ◆先ほど選択した文章がドキュメント画面 に貼り付けられて出てくる。ここでは、画面 保存をせずにそのまま「ドキュメント」アプリを 終了する。
- ◆ここで、「グーグルドライブ」アプリを開くと、 マイドライブの中に、今作成した「無題のド
 ▲マイドライブを開き、下部にある「ファイル」もしくは「ホーム」の アイコンをタップして探しましょう。



Gドキュメント/スプレッドシートとはどんなものか?

◇次回の講座では、オフィスのワード・エ クセルとグーグルのドキュメント・スプレッド シートとのファイル交換について取り上げ ます。本日は、次回のテーマを理解しや すくするため、グーグルの「ドキュメント」「ス プレッドシート」とオフィスの「ワード」「エク セル」との関係を一旦整理してみます。



アプリの種類	WINDOWS	GOOGLEアプリ
文書作成	ワード	ドキュメント
表計算ソフト	エクセル	スプレッドシート
<u>使用場所</u>	<u>WINDOWS</u> <u>DESKTOP内</u>	<u> グーグルドライブ内</u>



➡データを抽出してスプレッドシートに貼り付けても、スプレッドシートはセルを認識しません。補正するには、計算式等を使い、再度横軸のセルの設定ができるようにしなければなりません。



グーグルの編集アプリには、パワーポイントの代用となるグーグルスライ ドもあります。しかし、パワーポイントとの互換は、現状ではかなり使い 勝手が劣ります。いまのところは使わない方が無難でしょう。



◇グーグルの編集アプリの操作上の特徴

マイクロソフトのオフィスでは、ワードやエクセルのファイルを更新したあと、必ずファ イル保存を行いますが、グーグルのワードやスプレッドシートでは「ファイルを保存 する」という設定は行いません。

更新作業を終了したら、アプリを閉じると勝手にファイルが更新されています。 ごれがグーグル系の編集アプリの大きな特徴です。

グーグル・ドキュメントはワードとは操作方法が大きく異なる

ここまで、グーグル・ドキュメントについて概略を説明しました。

グーグル・ドキュメントやスプレッドシートはマイクロソフト・オフィスの 「ワード」「エクセル」とは操作方法が異なっています。特に「エクセ ル」に慣れた人には「スプレッドシート」の操作には苦労します。

局所的なデータ入力であれば操作方法はワード・エクセルと同じようなものですが、本格的な操作方法を覚えるのはひと手間です。

ここではグーグル・ドキュメントの詳しい操作方法についての説明は 割愛します。グーグル・ドキュメントの操作方法を一から覚えるより、 習熟しているワードの操作方法を使ったほうが便利だからです。

グーグル・ドキュメントのファイルを一旦ワードのファイルに変換して使 う方が手軽だと考えられるからです。



<u>Gドキュメント/スプレッドシートの使い方を試してみよう</u>

最後にグーグル・ドキュメントやグーグル・スプレッドシートの使い勝手を試してみましょう。

◇ラインを使って、グーグル・ドキュメントとスプレッドシートのファイルを送っています。

 ①送られているファイル2点(Gドキュメントファイル「文化協会」、スプレッドシートファイル (血圧の記録)をスマホのグーグル・ドライブにダウンロードしまてみましょう。
 ②ダウンロードしたグーグル・ドキュメントを開いて、適当な文字の入力をやってみましょう。
 ③ダウンロードしたグーグル・スプレッドシートを開いて、適当な数字の入力をやってみましょう。
 ④グーグルドライブ上のドキュメントとスプレッドのファイルを開いてください。開いたファイルで、 データ更新ができているかどうかを確認してください。